

平成 29 年度第 2 回二戸市総合計画推進委員会 議事録

開催日時：平成 30 年 3 月 28 日（水）午前 10 時～12 時

会場：市役所本庁舎 1 階会議室

【出席委員（敬称略）】

久慈 浩（委員長）、佐々木春彦（副委員長）、（以下五十音順）阿部悦子、石輪成人、大建ももこ、小野寺功、黒澤一史、平 裕一、田家 亘、浪岡正行、堀内晋介

【オブザーバー】

川上 隆 二戸市ふるさと支援アドバイザー

【説明のため出席した職員】

藤原 淳市長、大沢 治副市長、田中館淳一総務政策部長、石村一洋市民生活部長、小野一浩健康福祉部長（新）、陳場範雄産業振興部長（新）、久慈清隆建設整備部長、山本進浄法寺総合支所長、玉懸邦将教育部長（新）、泉山茂利樹政策推進課長、小野昭徳政策推進課長（新）、佐藤しのぶ情報管理室長、五日市寿丸副主幹兼地方創生推進監

～～～ 開会 午前 10 時 ～～～

泉山課長
（進行）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

開会に先立ちまして、市の出席者を紹介します。

（市長以下、出席者の紹介）

なお本日も、第 1 回に引き続き、二戸市のふるさと支援アドバイザー、川上隆様を、オブザーバーとしてお招きしております。

ただいまより、平成 29 年度第 2 回二戸市総合計画推進委員会を開催いたします。

ただいまの出席委員は、11 名でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。欠席の連絡は、長葭委員、三角委員、中里委員、黒沢克子委員、馬場委員 から、いただいております。

それでは、次第の 2、あいさつに移ります。始めに、本委員会の委員長でございます、久慈浩様より、ごあいさつを頂戴します。

久慈委員長

皆さん、こんにちは。本委員会の委員長を務めます、久慈でございます。一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

さて、昨年 7 月に開催されました第 1 回委員会では、平成 29 年度の各部の主要事業について、ご審議いただきました。

本日は、前回ご審議いただきました主要事業の成果と、平成 30 年度の主要事業、そして、地方創生交付金事業の成果について、ご説明いただきます。

平成 30 年度は、第 2 次総合計画前期基本計画の中間年にあたります。これまでご審議いただいております、アクションプランや実施計画の内容も、徐々に成果が表れてまいります。委員の皆さんにおかれましても、重要な機会でございます。ぜひ、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

泉山課長

久慈委員長、ありがとうございました。続きまして、藤原市長よりごあいさつ申し上げます。

藤原市長

本日は年度末の大変お忙しい中、総合計画推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。委員長からも申し上げましたとおり、第 2 次二戸市総合計画は前期基本計画 3 年目となります。これまでは、どうやって進めていけばよいかということについて一生懸命考え、

とにかく進めて行かなければならないのだ、ということで各事業を展開しているところでございます。新しいアクションプランは 671 になりますが、これら一つひとつの積み重ねにより、30 年後の未来像「人が輝き 未来をひらくまち への」につながるものと考えております。各分野の柱につきましては、まず漆や産業についてはテレビ等でも報道がされているところでございます。それから、病児保育施設や中央児童クラブが完成を迎えます。私たちは着実に進んでいると考えておりますが、市民の皆さんにとって本当に進んでいると感じていただいているかというところはまだ違うと思います。ですので、皆さんから「もっとここはこうしたほうが良いのではないか」というような意見等をいただいたりして、我々の自負のみにならないよう、いろいろな世代、立場の方々が幸せや満足感を持っているかということが重要です。あくまでも事業は一つの手段であり、目的ではありません。事業を進めていった先に皆にとって暮らしやすい、また二戸に住んで良かったと思っていただけるようなまちづくりが必要だと思っております。今日は積極的なご意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

泉山課長 それでは、次第の 3、市民憲章唱和にうつります。第 1 回の委員会でご紹介いたしました合併記念式典の様子から、子どもたちの声に合わせてご唱和ください。

(市民憲章唱和、市民憲章のうた)

泉山課長 ありがとうございます。続きまして次第の 4、議事に入ります。ここからは、二戸市総合計画推進委員会設置要綱、第 6 条の 2 に、委員長が議長を務めることと規定しておりますので、議事進行を久慈委員長をお願いいたします。

久慈委員長 それでは議事を進めてまいりたいと思っておりますが、その前に先日 IBC テレビで放送されました「二戸市長に聞く」という番組をご覧くださいませ。

(「二戸市長に聞く」視聴)

久慈委員長 ありがとうございます。それでは議事に入ります。議事の 1、「これまでの取り組みと平成 30 年度の主要事業について」でございます。資料の説明は政策推進課長よりお願いします。

泉山課長 (泉山政策推進課長 説明)

久慈委員長 ありがとうございます。説明が終わりました。質疑に入ります。平成 28 年度と 29 年度の取り組みを振り返り、30 年度ではこれまでの成果をさらに発展させていくものであるようです。ぜひ、質問のみならず意見もお願いします。質疑等があれば挙手願います。

平委員 「カシオペアブランド発掘・発信事業」の概要と、「空き家等適正管理・活用事業」の内容の詳細を教えてください。

泉山課長 カシオペアブランドは、管内 4 市町村の農協や商業、観光などの分野から若い人を中心に 40 人ほどの方に集まっただき、これまで 4 回ワークショップを開催しました。今年度は発信のコンセプトを考えまして、「カシオペア 5 つ星の感動と体験を」というコンセプトで進めていこう、としているものです。なお今後は、あと 2 年かけて具体的に形にしていくことにしており、平成 30 年度はその作業を予定しています。

田中館部長 補足します。この事業は、これからはもう単独の市町村ではどうにもならないということで、連携して、広域的に力を合わせて進めていこうということで、始めています。1 箇所にとどまるのではなく、いろいろなところを歩いてほしい、という考えのもと、県の地域経営推進費を活用することで県も一緒になって進めていこうとしているものです。

久慈部長 私からは空き家についてご説明します。まず、平成25年の住宅・土地統計において、市内の空き家は全体の17パーセントという結果が出ました。また、平成28年に消防団に委託して市内を回っていただいたところ、800件ほど確認され、うち対策が急がれる危険な特定空き家について、持ち主に連絡して対応をお願いし、平成30年度はそのための補助制度を創設するものです。

久慈委員長 ありがとうございます。その他にご意見や感じたことはありませんか。

平委員 800件もあるとは驚きました。再利用というのは当然ごく一部しかできないだろうと思いますが、事業自体はとてもいいことだと思います。カシオペアブランドもとてもいいことだと思います。あと、園芸産地についてですが、今はまったく労働力が足りない状態です。経営について夢はあるけど、人が足りなくてそれができない。先日、岩手町の補助制度の存在をお聴きしたのですが、その辺の人材育成がこれからの問題になると思います。また、ネギの産地である秋田県能代市では、労働力を無視して大量生産体制を整えたことで人が足りず、市職員が売る仕事を担当することになったそうです。ぜひ二戸市も、そのような形でご協力いただけたらと思います。

久慈委員長 ありがとうございます。こちらは要望という形でよろしいでしょうか。他にございませんか。

田中館部長 その辺について私からお話しします。1点目は労働力不足ということで、今、とにかく二戸を元気にして、二戸で働き、二戸に住もうという活動をしています。それから、ブランドについては今ホワイトアスパラや種鶏などが出てきているところですが、市はそれらを支援するという形で事業を行っているところです。

久慈委員長 ありがとうございます。他にありませんか。

阿部委員 支援という言葉が出ましたが、私のほうからはお願いという形になります。公民連携ということで事業を行っていることで、とても素晴らしいことだと思っています。それを行って初めてのいろいろな効果が出てくると思っています。ですが、私たちにとって、市役所は敷居が高く、相談しづらいところです。最初から頼ろうというわけではなく、時には命がけで支援しなければならないような場面において、しょうがないなと思いつつ相談に行くのですが、市職員の真摯な態度が感じられないように思います。私たちの力では限界があり、何とかしたいと思って対応するのですが、それを何とか認めていただきたい。最終的にはパートナーシップだと思うのですが、必死で相談に行くのに対して市職員は一体福祉をどう考えているのかな、と思う部分があります。少し、やさしい言葉をかけていただけると助かります。

藤原市長 福祉に限らず、気軽に相談できるということは大事です。職員には常々「相手の立場になった対応を」と指導しているつもりですが、これからも何かございましたらおっしゃっていただけるとありがたいと思います。

久慈委員長 ありがとうございます。こちらは、要望という形でお受けします。その他ございませんか。なければ、次の議事に進みます。議事の2、地方創生交付金事業について。今回は、平成29年度に行われました、公民連携まち再生事業の金田一温泉地区、大規模改修を行った滴生舎となにゃーとについて、ご説明します。始めに、公民連携まち再生事業について、総務政策部長より説明をお願いします。

田中館部長 (田中館部長説明)

久慈委員長 次に、拠点整備交付金事業、滴生舎の改修事業について、山本総合支所長より、説明願います。

大建委員 (山本総合支所長説明)

次に、同じく拠点整備交付金事業、なにゃーとの改修事業について、山本総合支所長より、説明願います。

久慈委員長 説明が終わりました。何かご質問等ございますか。
地方創生交付金事業ではなにゃーとの改修が行われました、職場があります、堀内委員さんはどのような印象をお持ちになりましたか。

堀内委員 なにゃーともまもなく完成を迎えるということで、まだ現在は1階、2階は検査前のため中に入って見ていないのですが、物産センターも以前よりぐっと買い物がしやすくなると思いがら、見ていました。また観光協会の事務所があります3階は、全体的に漆をイメージしたつくりになっており、ガラッと変わるなあという印象があります。新しくなりますので、最初はいろいろ手探りになるとは思いますが、賑わいは期待されると思いますので、ある意味覚悟をしながらその日を迎えようとしているところです。

久慈委員長 ありがとうございます。その他ございませんか。金田一温泉で旅館を営む大建さんは、公民連携まち再生事業の内容についてどのようにお考えですか。

大建委員 今話し合いをしている途中であり、楽しみなのですが、1点不安なところがあります。それは、温泉センターが工事に入ると1年間営業を休むなかで、他の旅館が日帰り入浴客に対応できるかどうか、ということですね。大体は、10人くればいっぱいになるので、「温泉に入れないなら他に行こう」などとお客さんが離れていかないようにする工夫が必要になると思っています。

ありがとうございます。不安や課題もあると思いますので、どうぞこの機会にお話してください。

田中館部長 今のお話は、まさにそのとおりでと思います。ゆ〜らくの従業員にしてもそうですし、地域全体をどうするかということで、いろいろ調整を行わなければならないと思っていますが、この事業が金田一温泉の活性化につながればいいなと思っておりますので、うまく移行させていかなければならないと考えています。

久慈委員長

商工会でも同様の意見がでましたので、ぜひ積極的に意見を出し合って、いいものにしていければと思っています。他にありませんか。

佐々木委員 金田一温泉といえば50メートルプールだと思うが、プールに屋根をかけて年中使えるようにする、というような案はなかったのでしょうか。

田中館部長 まず、この地区をどう運営するかという話になったとき、温水プールは非常にコストがかかるという試算が出ました。この事業は、もうかるように稼げて、ペイできる体制づくりを行わなければならないということが重要なのです。ですので、公設で立派過ぎない建物になり、経費を削減して他にまわそうという手法などを考えました。まずは継続できることを念頭においています。

藤原市長

屋根というお話がありましたが、果たして「屋根をかけたら人が来るのか？」と考えたとき、私は経営には持って行けないのではないかと考えています。温水を使うことなども検討しまし

たが、人は呼べないのかなと思っておりまして、民間の発想で考えていただくことで、非常に良い内容になっていくのではないかと考えております。

ありがとうございました。他にございませんか。

久慈委員長 田家と申します。私は、普段から市が主催する山田桂一郎氏のセミナー等に参加しておりまして、非常にいいことだと思っており、ぜひ他の市民の皆さんにも積極的に参加してほしいと思っているのですが、今日は一つお願いをさせていただきたいと思います。小保内前市長はカシオペア青年会議所に入会していただいた経緯がございました。これは、藤原市長が市職員に対し「市民の中にもっと入って」とおっしゃっているところから、とても大事な例だと思っています。また今回、会議所に職員が入ってくださりまして、これをきっかけに今度「総合計画を学ぶ会」を企画しており、これからも協力体制が育まれることが期待されることから、今後もぜひ職員の方に参加いただけたらと思っています。

久慈委員長 要望でございましたね。部長さん方もお聴きになったと思います。それでは、時間もございまずので、議事はこれにて終了とさせていただきます。ありがとうございました。

泉山課長 久慈委員長、ありがとうございました。それでは、これをもちまして、平成29年度第2回二戸市総合計画推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。

～～～ 閉会 午後12時 ～～～